

平成24年度（2012年度）千葉大学文学部行動科学科・史学科・国際言語文化学科 推薦入試学生募集要項

趣 旨

行動科学科・史学科・国際言語文化学科では、大学入試センター試験・個別学力検査によっては判定できない資質と能力を持ち、高等学校で優秀な成績を修めている者に対して、門戸を開放しています。とりわけ、行動科学科では常識にとらわれず柔軟に発想し、明解で論理的に考える能力を、史学科では「文字・モノ・イメージ」などの史資料を用いて、自己の歴史主題を世界史的な視野に立って考える能力を、国際言語文化学科では国際的な言語・文学・文化に対する強い関心と動機づけがあることを重視しています。

※「文学部入学者受入れの方針」の全文は次のURLに掲載されております。

<http://www.chiba-u.jp/exam/entrance/01bungakubu.pdf>

1. 募集人員

学 科	一般推薦	特別推薦
行 動 科 学 科	10	－
史 学 科	5	－
国際言語文化学科	9	2

2. 出願資格

行 動 科 学 科：①～③のすべての要件を満たす者

史 学 科：①～③のすべての要件を満たす者

国際言語文化学科：一般推薦については①～④のすべての要件を満たす者

特別推薦については①～④のすべて、及び⑤または⑥の要件を満たす者

- ① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を平成24年（2012年）3月卒業見込みの者
（学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき平成23年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）
- ② 調査書の学習成績概評がA段階にある者
- ③ 出身高等学校長（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の長を含む。）が責任をもって推薦する者
- ④ 外国語（第1外国語、第2外国語と開設している学校においては、第1外国語）の評定平均値が4.5以上の者
- ⑤ 「国際文化」、「国際教養」、「外国語」、「英語」等、国際文化に関する科またはコースに在籍している者
- ⑥ 第2外国語（第1外国語を除く英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語のうち1つ）の評定平均値が4.5以上の者

3. 推薦人員

国際言語文化学科では、特別推薦の志願者は1高等学校につき1名とします。

4. 出願期間

平成23年11月1日（火）から11月4日（金）17時まで

5. 出願手続

(1) 出願書類

①	志願票・受験票・写真	本学部所定の用紙
②	調査書	文部科学省で定めた様式により、出身高等学校長が作成し厳封したもの。
③	推薦書	出身高等学校長が作成したもの。本要項に綴じ込んである本学部所定の用紙を使用してください。
④	写真	2枚（縦4cm×横3cm）出願前3か月以内に撮影した上半身、正面、脱帽のものとし、受験票及び写真票に貼りつけてください。
⑤	検定料	<p>入学志願者は出願前に最寄りの銀行等（ゆうちょ銀行は除く）に行き、本募集要項の所定用紙（検定料振込用紙）を使い、検定料17,000円を必ず窓口（自動振込機使用不可）で振り込んでください。振込方法は電信扱い、振込手数料は本人負担となります。</p> <p>入学志願票の裏に検定料の振込証明書「貼付用（大学提出用）」を貼ってください。なお、「貼付用（大学提出用）」に取扱金融機関出納印がないものは無効となりますので、金融機関で受領した際に必ず確認してください。</p> <p>○納入された検定料は、原則返還しません。但し、検定料を誤って振込み、出願しなかった者が所定の返還手続を行った場合は、全額返還します。</p> <p>手続期限は、平成24年3月30日です。</p> <p>○返還の手続の詳細については、学務グループに確認してください。</p>
⑥	返信用封筒（受験票送付用）	本学部所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、380円分の郵便切手（簡易書留料金を含みます。）を貼ってください。
⑦	合否決定通知用封筒	本学部所定の封筒に出身高等学校の住所を書き380円分の郵便切手（簡易書留料金を含みます。）を貼ってください。
⑧	住所シール	入学手続き関係書類等の送付に使用しますので、志願者の郵便番号・住所・氏名を記入してください。

(2) 出願書類提出方法

出身学校長は、上記提出書類を取りまとめ、出願者数を明記した送り状を添付し、「推薦入学願書在中」と朱書し、「簡易書留郵便」で送付してください。（11月4日（金）17時までに必着のこと）

郵送するに当たっては、配達に要する日数に十分注意してください。

(3) 国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の推薦入学へ出願することができるのは、一つの大学・学部のみです。

(4) 出願書類の郵送先

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号 千葉大学文学部学務グループ

6. 選抜方法

提出された書類（調査書、推薦書）及び小論文、面接により総合判定のうえ合格者を決定します。（大学入試センター試験は免除します。）

小論文実施日時・場所	平成23年11月19日（土）14：00～15：30	千葉大学文学部
面接実施日時・場所	平成23年11月20日（日）9：00～17：00	千葉大学文学部

③ 学生保健互助会費

8,000円（4年分）全員加入（郵便局またはゆうちょ銀行で払込）

（疾病負傷の際に相互に救済し、進んで健康保持に寄与することを目的としております。）

〔注〕詳細は、総合安全衛生管理機構（学生保健部）にお問い合わせください。

TEL 043-290-2220

④ 学生教育研究災害傷害保険料（付帯賠償責任保険Aコース含む）

4,660円（4年分）全員加入（郵便局またはゆうちょ銀行で払込）（正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。）

〔注〕詳細は、学生部学生支援課にお問い合わせください。

TEL 043-290-2168

⑤ いったん納入した経費（入学料）は、いかなる理由があっても返還できません。

11. 受験に関する注意

- (1) 受験に関する注意事項は、11月18日（金）9時、文学部掲示板に掲示しますので必ず見ておいてください。
- (2) 試験室には、必ず受験票を携帯し、係員の指示に従い所定の場所に置いてください。（受験票は、入学手続の際にも必要ですから大切に保管してください。）
- (3) 宿泊場所等の斡旋はできませんので、各自で手配してください。
- (4) 入学者選抜の過程で収集した個人情報が入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。
- (5) その他の受験に関する照会は、文学部学務グループへ問い合わせてください。
- (6) 千葉大学文学部への道順
 - ・JR総武線「西千葉」駅下車、北口から徒歩で文学部棟まで約10分です。
 - ・京成千葉駅「みどり台」駅下車、徒歩で文学部棟まで約10分です。

平成23年（2011年）7月

千葉大学文学部学務グループ

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号

☎ 043(290)2352

学 科 案 内

〔行動科学科〕

行動科学科は、人間とその行動の多様な側面について、総合的かつ学際的な教育・研究を行う学科です。人間の意識や心の働き、人間の知的機能や人間の持つ生物としての特性、人間が作り上げた社会や文化など、人間の行動を解明する多様なアプローチがあります。1年次には、少人数制の「行動科学入門」や各講座の専門基礎科目を履修し、分野を超えた幅広い基礎知識を習得します。2年次からは哲学、認知情報科学、心理学、社会学、文化人類学のいずれかの講座に所属し、専門的な教育を受けることになります。

哲学講座では、人間の知識や行為の基礎を明らかにします。また、科学論、応用倫理、言語哲学などの分野にも力点をしています。認知情報科学講座では、人間や動物の知覚・認知行動や計算機における知識情報処理について、実験的・数理的に研究します。心理学講座では、人間行動の基礎としての認知過程、パーソナリティの解明および人間の社会的行動の理解を目指し、実験法、検査法、調査法、および計量的手法の習得に重点をおきます。社会学講座では、現代における家族、地域・都市、産業・労働、コミュニケーション、社会構造を対象とした実証的研究と理論的考察を行います。文化人類学講座では、人類の文化的多様性を手がかりに、家族、共同体、政治、宗教、エスニシティ、性、近代化過程などに関する理解を深めます。

各講座の主な授業科目は以下の通りです。

哲学講座：現代哲学、生命倫理学、科学基礎論、科学史、東洋哲学概説など。

認知情報科学講座：認知行動基礎論、情報科学基礎論、データ解析基礎論、比較認知論など。

心理学講座：高次認知論、人格心理学、知覚心理学、認知心理学、社会心理学など。

社会学講座：情報社会論、コミュニケーション社会学、産業社会学、ジェンダーの社会学など。

文化人類学講座：医療人類学、性の人類学、生態人類学など。

〔史学科〕

史学科では、これまで、日本史、東洋史、西洋史という枠組みにとらわれずに、世界史的観点に立って歴史学を研究・教育することを特徴としてきました。また、これに加えて、「もの」「かたち」「文字」という三つの文化伝達要素にそくして歴史学を考えるための新しい分野も、従来の歴史と並べて展開します。「もの」に関係する授業科目としては、文化財学、考古学、美術史、歴史民俗学、宗教文化史、都市史などがあり、人類が作り出した物質や道具の歴史を通して歴史を考えます。「かたち」に関係する授業科目としては、画像情報史学、画像解釈学、記録史料学、歴史情報論、オーラルヒストリーなどがあり、人類の歴史を文献のみならず、画像、イメージ、音声、画像などの史料を駆使して考えます。「文字」に関する歴史学についても、日本史、アジア史、ヨーロッパ史文書学といった旧来の歴史学の分野に加えて、国際社会史、マイノリティ史、歴史社会学、思想史、文化史といった分野、あるいはアフリカ史、アメリカ史、東欧・バルカン史、イスラーム地域史といった領域を新設し、人類の歴史を広く国際的な視野から、また人々の生活や社会的関係の面から考える体制をとっています。学生のみなさんは、歴史学入門という小人数ゼミにおいて高等学校までの歴史の勉強とは違う歴史学の世界に導かれ、史学方法論で新たな歴史学の方法を学び、各種概説を受講し、種々の方法的訓練を受けた後、多様な専門科目を自由に履修することができます。史学科には、専修コースのような枠がないので、学生諸君は、自己の関心に応じて、さまざまな地域的歴史を、多彩な文化伝達要素にそくして研究することができます。また、博物館・美術館の学芸員、文書館のアーキビストなどの養成にも努めています。

〔国際言語文化学科〕

国際言語文化学科は、比較文化論、文芸様態論、言語文化構造論の3つの講座から構成され、国際化と多様化の時代に対応して、文化の国際的関連性や、言語・文学・文化の多様なあり方や構造について、幅広い研究・教育を行います。本学科においては、当然ながら外国語教育が重視されます。そして、学生はその関心に応じて、次の4種のコース、すなわち「比較文化論」（比較文化、比較文学、イメージ文化論、宗教文化論、国際日本研究、古典学）、「ヨーロッパ文化論」（ヨーロッパ比較研究、ヨーロッパ地域研究：フランス、ドイツ、スペイン、ロシア、文学理論）、「英語圏文化論」（英語圏文化論、アメリカ文化論）、「言語構造論」（言語理論、言語コミュニケーション論、歴史言語学）の中から自由に選択して研究できるようになっています。

「比較文化論」コースは、諸種の文化的営為を国際的な比較の観点から考察します。

「ヨーロッパ文化論」コースは、英語圏以外の諸言語を巡る文化に焦点をあてながら、広い視野に立って研究します。文学理論に関する研究もここに含まれます。

「英語圏文化論」コースは、イギリス・アメリカを中心とする広い範囲の英語圏を巡る文化に焦点をあてつつ、さらに広い視野に立って研究します。

「言語構造論」コースは、言語構造・コミュニケーション・言語理論・歴史言語学に関する研究も含まれます。

本学科の学問領域と開講される授業科目は、大きなヴァリエティがあり、多様な学習が可能となるよう工夫されていますが、本学科では、学生が自主的な選択によって国際社会での活躍のために必要な知識と語学力を身につけることを重視しています。